

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 24 年 1 月 5 日 (2012.1.5)

【公表番号】特表 2011-518467 (P2011-518467A)
 【公表日】平成 23 年 6 月 23 日 (2011.6.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-025
 【出願番号】特願 2011-500729 (P2011-500729)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 52/48 (2009.01)

H 0 4 W 28/04 (2009.01)

H 0 4 J 13/00 (2011.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 4 5 2

H 0 4 Q 7/00 2 6 3

H 0 4 J 13/00 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 11 月 10 日 (2011.11.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

拡張アップリンクを用いる UTRAN (Universal Mobile Telecommunications System Terrestrial Radio Access Network) の、ユーザ端末におけるアップリンク再送信方法であって、

初期送信において、第 1 の数の物理制御チャネルと第 2 の数の物理データチャネルを有するサブフレームを送信するステップ (400) と、

総回数 M のうち第 3 の回数 N ($N < M$)、前記サブフレームを再送信するステップ (401) と、前記サブフレームを、残りの M - N 回、再送信するステップ (402) とを有し、

前記第 1 の数の物理制御チャネルの少なくとも 1 つが、前記初期送信における対応する物理制御チャネルの送信電力レベルよりも低い送信電力レベルを有し、前記第 2 の数の物理データチャネルの少なくとも 1 つが、前記初期送信における対応する物理データチャネルの送信電力レベルよりも高い送信電力レベルを有することを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記 N 回の再送信における前記第 1 の数の物理制御チャネルの前記少なくとも 1 つが、前記初期送信における対応する物理制御チャネルの送信電力レベルよりも高い送信電力レベルを有することを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記低い送信電力レベルを有する物理制御チャネルの 1 つが、拡張個別チャネル用の個別物理制御チャネルであることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記低い送信電力レベルを有する物理制御チャネルの 1 つが、個別物理制御チャネルであることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

拡張アップリンクを用いる UTRAN (Universal Mobile Telecommunications System Terrestrial Radio Access Network) の、ノード B におけるアップリンク再送信方法であって

、

ユーザ端末から受信される初期送信において、第 1 の数の物理制御チャンネルと第 2 の数の物理データチャンネルを有するサブフレームを受信するステップ(403)と、

前記ユーザ端末から受信された、総回数 M のうちの第 3 の回数 N ($N < M$) の再送信において、前記サブフレームを受信するステップ(404)と、

前記サブフレームを、残りの M - N 回の再送信において前記ユーザ端末から受信するステップ(405)とを有し、

前記第 1 の数の物理制御チャンネルの少なくとも 1 つが、前記初期送信における対応する物理制御チャンネルの送信電力レベルよりも低い送信電力レベルを有し、前記第 2 の数の物理データチャンネルの少なくとも 1 つが、前記初期送信における対応する物理データチャンネルの送信電力レベルよりも高い送信電力レベルを有することを特徴とする方法。

【請求項 6】

前記 N 回の再送信における前記第 1 の数の物理制御チャンネルの前記少なくとも 1 つが、前記初期送信における対応する物理制御チャンネルの送信電力レベルよりも高い送信電力レベルを有することを特徴とする請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】

前記低い送信電力レベルを有する物理制御チャンネルの 1 つが、拡張個別チャンネル用の個別物理制御チャンネルであることを特徴とする請求項 5 または請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記低い送信電力レベルを有する物理制御チャンネルの 1 つが、個別物理制御チャンネルであることを特徴とする請求項 5 乃至請求項 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 9】

拡張アップリンクを用いる UTRAN (Universal Mobile Telecommunications System Terrestrial Radio Access Network) の、ユーザ端末(150)であって、

初期送信において、第 1 の数の物理制御チャンネルと第 2 の数の物理データチャンネルを有するサブフレームを送信する手段(501)と、

総回数 M のうち第 3 の回数 N ($N < M$)、前記サブフレームを再送信する手段(502)と

、

前記サブフレームを、残りの M - N 回、再送信する手段(502)とを有し、

前記第 1 の数の物理制御チャンネルの少なくとも 1 つが、前記初期送信における対応する物理制御チャンネルの送信電力レベルよりも低い送信電力レベルを有し、前記第 2 の数の物理データチャンネルの少なくとも 1 つが、前記初期送信における対応する物理データチャンネルの送信電力レベルよりも高い送信電力レベルを有することを特徴とするユーザ端末。

【請求項 10】

拡張アップリンクを用いる UTRAN (Universal Mobile Telecommunications System Terrestrial Radio Access Network) の、ノード B (130) であって、

ユーザ端末から受信される初期送信において、第 1 の数の物理制御チャンネルと第 2 の数の物理データチャンネルを有するサブフレームを受信する手段(503)と、

前記ユーザ端末から受信された、総回数 M のうちの第 3 の回数 N ($N < M$) の再送信において、前記サブフレームを受信する手段(503)と、

前記サブフレームを、前記ユーザ端末から受信された残りの M - N 回の再送信において受信する手段(503)とを有し、

前記第 1 の数の物理制御チャンネルの少なくとも 1 つが、前記初期送信における対応する物理制御チャンネルの送信電力レベルよりも低い送信電力レベルを有し、前記第 2 の数の物理データチャンネルの少なくとも 1 つが、前記初期送信における対応する物理データチャンネルの送信電力レベルよりも高い送信電力レベルを有することを特徴とするノード B。